

Active Content Protection



サーバー認証型 PDF セキュリティソリューション

「Active Content Protection」は、重要なPDFデータの情報漏洩対策、配布先での2次利用防止を目的としたコンテンツセキュリティソリューションです。

不正なデータの持ち出しに対応

情報漏洩の約 80%が内部の人間による流出が原因といわれています。「Active Content Protection」は、外部に持ち出されたデータの閲覧を制限し、ユーザー・管理者の双方に負担のない運用を実現します。

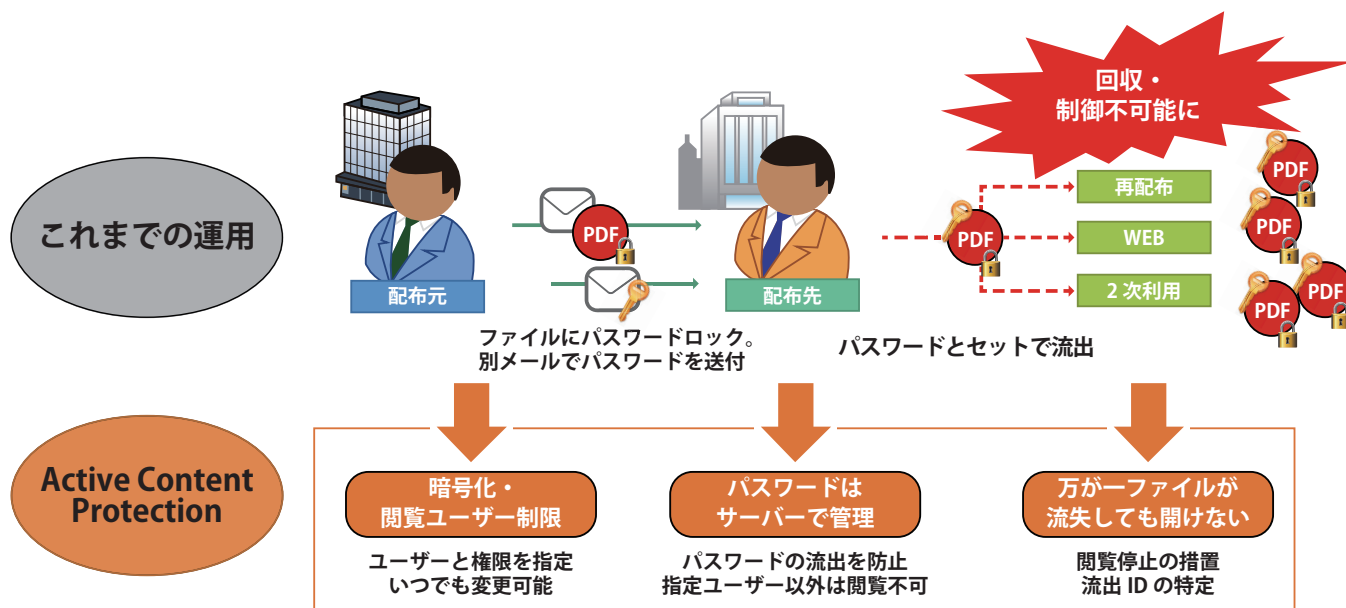
2次利用を制限

取引先や委託先へ配布された図面や重要なデータ。配布先での管理状況はきちんと把握できていますか？情報統制において最も恐ろしいことは、情報が流出している事実そのものに気がつかないことです。

閲覧状況の追跡と閲覧停止

だれが、いつ、どのファイルを、どのデバイスで見たのかを把握します。これにより流出の可能性を検出し、万が一ファイルが流出した際には、ファイルがどこにあっても閲覧を停止することが可能です。

これまでの「人依存」のパスワード運用は危険です。



「Active Content Protection」は
バックエンドでの認証によりパスワードの流出を防ぎます

Active Content Protectionの特徴

ファイルはどこにあってもOK
サーバー側でファイルの閲覧をいつでも制御



万が一ファイルが流出しても
閲覧禁止が可能です



暗号化・権限設定は
右クリックで簡単操作



配布した後のファイルの
利用状況を追跡します



PDF標準の暗号化機能を活用
どんなシステムでも利用可能です



充実したAPIによる
カスタマイズも可能です



指定したユーザ以外は
ファイルを開くことが出来ません



ファイルに有効期限を設定出来ます



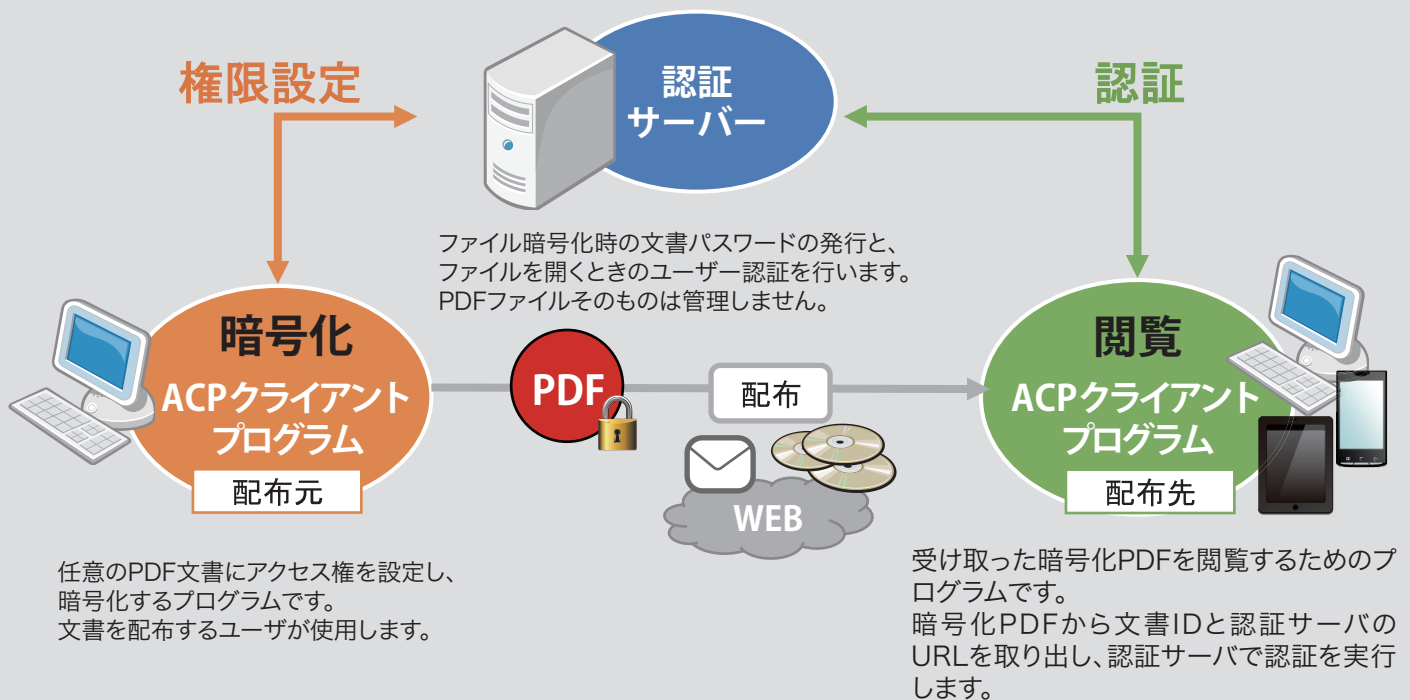
マルチデバイス対応
1ユーザーアカウントで
複数デバイスでの利用と管理が可能



オフライン機能によりネットワークが
一時的に利用できない環境でも
利用できます

システムの仕組み

「Active Content Protection」は、
3つのパーツから構成されています。



【動作OS】 ※詳細はお問い合わせください。

- 閲覧用クライアントプログラム
 - ・ Windows Vista SP2 以降
 - ・ Mac 版 (開発中)
 - ・ Android (開発中)
 - ・ iOS 6 以上
- 暗号化クライアントプログラム
 - ・ Windows Vista 以降
- 認証サーバ
 - ・ Windows Server 2008 / 2008 R2 / 2012 / 2012 R2
 - ・ RedHat Enterprise Linux 5 または 6 および互換性のあるディストリビューション
 - ・ HTTPS での運用が必須

●本カタログに記載された会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

【お問い合わせ】

SOFTWAREToo

株式会社ソフトウェア・トゥー
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-4-7 虎ノ門36森ビル
電話 03-6757-3290

<http://www.swtoo.com>